

令和5年度（2023年度）第4回長房中学校区地域づくり推進会議 議事概要

日時	令和6年（2024年）2月24日（土）9:30～12:00
場所	長房小学校 1階 プレイルーム
出席者	参加者：縣、宇田、清水、鈴木、塚本、西山、本堂、野副、森、森本、山陰、山中、松葉、渡辺、大谷、阿部、田名網、矢通 高齢者あんしん相談センター長房：古座野 シルバーふらっと相談室長房：光富 はちまるサポート長房：久住、合崎 長房小学校校長：川村 市地域づくり担当：伊東、興梠、松下、和田
配布資料	・資料1 「地域づくり推進基本方針」改定に向けた推進会議参加者アンケート結果まとめ ・資料2 長房の未来をつくる会 会則 ・資料2-1 入会申込書 ・資料3 長房の未来をつくる会の設立總會次第 ・資料4 プロジェクトの検討・テーマ別意見交換

## 1 開会

事務局より挨拶、資料確認。

## 2 事務局からの報告

### (1) 前回の振り返り

(振り返りの内容)

- ・ 前回は、長房の未来をつくる会（地域づくり団体）を設立した後の推進会議の機能・役割について、推進会議は、議論や情報共有の場として、現状の地域課題に関する検討や地域の情報共有の場とすること。そして、推進計画のアクションプランに定めた取組や推進会議の議論から生まれた活動については、長房の未来をつくる会（地域づくり団体）で行っていくことを確認した。
- ・ 新たに策定した「地域づくり団体の届出に関する要綱」の内容の説明を行い、長房の未来をつくる会を立ち上げた後、本要綱に基づき、届出を提出することで、推進会議と連携して活動を行う団体であることを確認させていただき、市として引き続き支援を行っていく。
- ・ 団体の会則については、役員会の議論をもとに作成した案をお示しし、第1条名称を「長房の未来をつくる会」に決定したうえで、第3条事務所、第7条会費、第10条役員を中心に検討いただいた。
- ・ 本日は、前回の推進会議で出た意見をもとに「長房の未来をつくる会」会則案を作成したので、最終確認をしたうえで、設立總會を行う。

### (2) 第3回八王子市地域づくり推進基本方針改定懇談会について

(説明内容)

- ・ 10月の第2回懇談会で「地域づくりの必要性」、「地域づくり推進事業の中身」、「地域づくりが目

指すもの」の大きく3つの構成で改定していくことをお示しして、参加者からも概ね賛同いただきました。特に、地域づくり推進事業の中身の検討に当たって、推進会議の検証を重視しており、前回の推進会議の際に皆さんにもアンケートの協力をいただいたところ。

- ・ その結果を踏まえ、1月22日に開催した第3回懇談会では、誰もが理解し、共感しやすい新たな地域づくりビジョンとして、「緩やかなつながりを大切に、地域をもっと好きになる！」というフレーズをお示した。
- ・ 新たなビジョンを提示したうえで、地域づくりの必要性については、全体像に記載のあるとおり、「ゆるやかなつながりが求められているのではないか。」「地域でやりたいことがあっても、できていない状況があるのではないか。」「そもそも、自分たちが住んでいる地域を知る機会がなく、地域に対する愛着が持てていないこともあるのではないか。」といったところを必要性として捉えつつ、市の施策として、推進会議やこれから立ち上げる地域づくり団体における取組や活動をベースにしながら、<支える><つなぐ><掘り起こす>という3つの視点で行政も地域のサポート・支援を行っていくという構成でまとめていきたい。
- ・ そして、必要性として捉えた現状が改善されていった先の姿として、新たなビジョンとしても掲げている「ゆるやかなつながり」が生まれ、「地域をもっと好きになっている」姿が見えてくるのではないかと考えている。
- ・ 基本方針見直しのスケジュールについては、市議会の所管事務調査の最終報告が令和6年12月にあるため、その報告を受けて令和7年3月の改定予定とした。引き続き丁寧に議論を行っていきたい。モデル地区である長房中学校区の皆様にも、ご協力をお願いしたい。

(長房中学校から参加している野副氏から報告)

- ・ 懇談会では、推進事業のこれまでの経過や方針でまとめていきたい内容など、わかりやすい資料を用いて議論をしている。そういった資料については、私からも皆さんに共有していきたい。
- ・ 本日立ち上げる「長房の未来をつくる会」は、地域住民が中心となって自主的かつ自立した活動を市の支援をもらいつつ行っていくための団体。
- ・ 懇談会の中で、地域の「ゆるやかなつながり」を活かした活動の例として、CCC (Cleanup Coffee Club) というゴミ拾い (Cleanup) をしてコーヒーを飲みながらおしゃべりをする (Coffee Club) といった参加者の負担感の少ない取組の話聞いた。
- ・ 本日、立ち上げる地域づくり団体についても、そういった取組を参考にしながら、「ゆるやかなつながり」を意識して活動していくことも重要だと思う。

### (3) 推進会議参加者を対象としたアンケートの実施結果について

資料1「地域づくり推進基本方針改定に向けた推進会議参加者アンケート結果まとめ」を配布し、その中からアンケート結果の概要を説明した。

- ・ 参加者の年齢層については、75~79歳が一番多く、どのように感じるかという設問についても、「ちょうどよいとは言えない」が一番多かった。引き続き若い世代に対するアプローチ方法を考えていかなくてはならないと認識している。
- ・ 推進会議への参加理由については、町会・自治会や各種地域団体からの依頼が一番多く、所属団体については、町会自治会が29名と一番多く、次いで、学校運営協議会・小中学校PTAの順に

多い。

- ・ 地域づくりの取組が期待できるものかどうかについては、約7割の方から「期待できる取組である」という回答をいただき、改めて取組の重要性を認識した。
- ・ 地域カルテと地域づくり推進計画の作成意義については、全体としてみると「有意義に感じる」という回答が一番多かったが、モデル地区である長房・川口については「あまり有意義に感じない」という回答も多くあった。この点については、推進計画に定めるアクションプランの実現性やカルテ作成後の有効活用などに課題があると捉えている。
- ・ 推進会議の単位をどのように感じるかについては、「現在の地域づくりの単位がいい」との回答を多くいただいているが、長房中学校区については、広く長房全域を範囲とした取組にしていかなくてはならないと考えている。
- ・ 地域づくり推進会議に期待することについては、「地域の担い手の掘り起こし・つながりづくり」の回答が一番多くなっている。推進会議の議論やそれに基づく取組を「地域活動の担い手の掘り起こし」につなげていく必要があると改めて認識した。

### 3 取組の報告

#### (1) 1月27日開催 キャリア教育について

- ・ 1月27日の学校公開の日に、長房小の家庭科室で5年生と特別支援学級1クラスの生徒約30名を対象にキャリア教育の講義を行った。
- ・ 当初、5・6年生と特別支援学級2クラスの生徒約50名を対象に行う予定だったが、インフルエンザによる学級閉鎖の影響で対象者を減らして実施することになった。
- ・ 講義の内容は、①ファイナンシャルプランナーである高坂氏（推進会議参加者）の仕事内容や人生100年時代と言われる中でのライフプランの話、②寿司一心の常磐氏による豊洲市場での競りの様子を踏まえた魚の仕入れについての話や実際にその場で握ったお寿司を食べるといった実演形式の講義を行った。
- ・ 参加いただいた生徒や保護者からは「貴重な経験ができた」と好評をいただいている。
- ・ 来年度は、地域にいる様々な職業の大人から子どもたちが将来のことを考える機会を提供する場として、学校と連携しながら継続してキャリア教育を行っていききたい。

#### (長房小 川村校長先生からの報告)

- ・ 総合的な学習の授業で「地域のことを知る」という取組を5・6年生で行っており、自分たちで課題を発見し、解決策を考えていくという点が、市の地域づくり推進会議の取組と共通する部分があり、これまでも協力いただいている。
- ・ 今年度は、試行的な取組として先日の学校公開の際に講義いただいた。来年度はカリキュラムとして組み入れ、1学期はキャリア教育の講義、2学期は実際に職場を見学するといったかたちで実施したいと考えている。
- ・ 今回のキャリア教育の講義については、地域の大人がどのような仕事をしているのか、日常的に自分たちが食べている食事がどういった流通で手元に届いているのかを学べた点が良かったと思う。
- ・ キャリア教育については、小中高大という子どもたちが実際に就職するまでの長い期間を掛けて

行っていくものなので、その足掛かりとして行えたことがよかった。

- ・ 2月21日に小中一貫教育の取組として船田小、長房中の先生を対象とした公開授業があり、キャリア教育の当日に参加することができなかった6年生と特別支援学級の生徒を対象に改めてキャリア教育の講義を行っていただいた。
- ・ こうした取組を学校再編で小中一貫校になることを見据えて、船田小や長房中と連携しながらやっていきたい。

#### (2) 3月2日開催予定 みんなの食堂について

- ・ 3月2日にスーパーアルプスのコピテラスで第3回みんなの食堂を開催する。
- ・ 前回と同様、スーパーアルプスとBASELに食材の提供をいただき、長房学童に通う児童・生徒と保護者約50名を対象に実施する予定でいる。
- ・ 催しものとしては、季節の行事に合わせて琴でひな祭りの曲を演奏してもらうことで調整している。
- ・ 今回は、来年度以降の開催を見据えて、船田学童の先生に見学に来てもらう予定でいる。
- ・ 後日、来年度の開催に向けて反省会を実施する予定。

## 4 活動団体（地域づくり団体）の設立に向けた検討

### (1) 会則の最終案の確認

資料2長房の未来をつくる会会則と資料2-1入会申込書をもとに、前回の推進会議や役員会での議論を踏まえて作成した会則案の最終確認を行った。

(説明内容)

- ・ 第1条名称については、前回の推進会議で議論し、「長房の未来をつくる会」に決定した。
- ・ 第2条区域については、長房中学校区を基本として活動していくことを定めている。
- ・ 第3条事務所については、会長宅としている。
- ・ 第4条目的については、市が設置する推進会議と連携しながら、推進計画に掲げる将来ビジョンの実現に向けた取組やアクションプランとしてまとめた取組等を行うことにより、地域づくりを推進していくことを目的として定めている。
- ・ 第5条活動については、アクションプランとして定めた活動の他に、地域の魅力を高めるイベントの実施・運営や地域の魅力や活動の宣伝・PRのための情報発信など、幅広く取組を行っていくように定めている。
- ・ 第6条構成については、推進会議の参加者及び活動への参加を希望する個人や法人などの団体も参加できることとしている。
- ・ 第7条協力金については、個人は1口500円20口までとし、法人その他団体は、1口5,000円とし、上限は設けないこととした。
- ・ 第8条入会については、資料2-1として入会申込書を用意した。
- ・ 第9条退会については、退会の要件が定められている。
- ・ 第10条役員については、会長1名、副会長2名、会計2名、会計監査1名、総務1名としている。それぞれの役員の職務については、第11条に定めている。
- ・ 第12条総会については総会の審議事項等が定められており、同様に第13条役員会については、

役員会の審議事項が定められている。

- ・ 第14条経費については、どういった収入を会の経費に充てるかを定めている。
- ・ 第15条は、活動報告書及び決算を毎年度終了後に行うこと、第16条は事業年度及び会計年度4月1日から3月31日までとすること、第17条は、毎年度終了後に会計監査を行うことが定められている。
- ・ 第18条その他として、会則に定めのない事項に関しては、総会または役員会で決定することとしている。
- ・ この会則については、本日の設立総会において審議し、可決されれば本日（2月24日）付で施行することになる。

（意見）

- ・ 第2条区域の条文の「長房中学校区を基本とする」という部分について、広く長房地域全体で活動を行っていくことを考慮して、幅を持たせた記載にした方がいいのではないかと。
- ・ ⇒（市）推進会議についてもこれまでそういったご意見をいただいております、今年度八王子市地域づくり推進会議モデル試行要綱改定の際に「原則中学校区」とするという表記にしている。同様の表記で想いを反映する形にしてはどうか。  
⇒参加者了承。
- ・ 第10条役員について、会計監査が1名となっているが、何かあった場合備え、2名にした方がいいのではないかと。
- ・ ⇒（市）団体の設立初年度は、推進会議との連携も密にしていく必要があることから、推進会議の現在の役員7名に団体の役員を担っていただくことがいいのではないかとのご意見もあり、役員構成を検討した。現在の推進会議の役員の他に、会計監査役を担っていただける方がいれば、2名にすることもできるがいかがか。いないのであれば、団体を立ち上げ、活動を行っていく中で、会計監査約が2名いた方がいいという状況になってくれば、会則を変更して2名とすることも可能なので、まずは1名で始めてみるのはいかがか。  
⇒参加者了承。

## （2）活動組織での取組の進め方について

- ・ これまで「みんなの食堂」「キャリア教育」「情報発信」など、部会を中心に取組を進めてきた。長房の未来をつくる会を設立した後は、役員会を中心としながら、各プロジェクトで中心的な役割を担っていくメンバーと連携し、総会で報告する形で進めていくことになる。  
⇒参加者了承。

## 5 長房の未来をつくる会 設立総会

議事録については、長房の未来をつくる会で別途作成。

## 6 プロジェクトの検討及びテーマ別の意見交換

資料4 取組の振り返りと検討・テーマ別意見交換のテーマから、各参加者に希望のテーマを選んでいただき、テーマごとにグループをつくって意見交換を行った。

## みんなの食堂

- ・ 来年度の開催に向けて、船田地域の子どもたちを対象にして開催する方法などを話し合った。
- ・ 今年度と同様、コピテラスを会場にしての開催は、協力いただいているスーパーアルプスの負担もあることから、年間4回をベースに検討していくこととした。
- ・ 理想としては、船田地域の子どもたちを対象に開催する場合は、船田地域にある商業施設や学校などの施設を使えるといい。また、食材についてはフードバンクの活用やスーパーなどの商業施設に協力をしてもらってもいいのではないかといった意見があった。
- ・ みんなの食堂の開催にあたっては、取組の趣旨を周知し、担い手を増やしていくことにつなげていきたい。

## イベントのこと

- ・ 令和6年度（2024年度）に開催を予定しているハロウィンとマルシェの話をした。
- ・ ハロウィンについては、10月26日に開催する予定でいる。まずは、協力いただける地域の団体にリストを作り、説明に回るための資料を作りたい。そうした内容を活動計画としてまとめるために、コアメンバー中心に打合せをしていく予定。
- ・ 開催資金については、市の補助金の他にクラウドファンディングで集められないか調査していきたい。
- ・ マルシェをハロウィンと同時開催で行うことを検討している。
- ・ 開催するためのノウハウの調査として、川口マルシェや元八マルシェを主催している人にも話を聞いてみたい。
- ・ ハロウィンを地域のことを知るきっかけになるイベントにして、地域に根差したマルシェで価値を創出していきたい。

## 長房の魅力について

- ・ まずは、地域を知る、地域の歴史を知ることが大切。
- ・ 高齢者も多いが、元気な高齢者も多い。
- ・ 地域には既にたくさんのイベントがある。例えば、住民協では年間3回程度ふれあいウォークを開催したり、星を見る会というイベントを行っている。こうした取組をどういった形で地域に広げていくかといった課題もある。
- ・ 開催するイベントについては、子どもたちに夢を与えられる取組にしたい。
- ・ 地図を作って地図上に地域イベントを取りまとめるのも良いのではないか。
- ・ 中郷町会では、町会と子供会の役員を統一し、上手く活動をしているといった事例もある。

## 7 その他の連絡・共有事項

### みなみ野・南大沢の計画の共有

- ・ みなみ野・南大沢中学校区で、今年度、「地域づくり推進計画」を策定した。
- ・ 計画の策定にあたっては、先に推進計画を策定している長房や川口の推進会議参加者の声も参考にしつつ作成した。

- ・ これまでの推進計画との大きな違いについては2点ある。
- ・ 推進会議に参加している地域の方々の顔が見えるように、推進会議に対する想いを書いたパネルを掲げてもらった写真を掲載している。
- ・ アクションプランについては、推進計画に掲載せず、いわゆるアジャイル型にしており、活動計画が決まったタイミングでプロジェクトシートとしてHPにアップする形にしている。

#### NAGAFUSA ミライ☆ミーティングについて

- ・ 令和3年度（2021年度）から中郷児童館と連携しながら、長房の魅力を再発見することを目的に開催しているイベントであり、今回で第3回目になる。
- ・ 第1回目は長房中青少対の方々、第2回目は富士森高校の生徒に参加いただき開催した。
- ・ 今回は、住民協で行っている長房ふれあいウォークを参考に、長房の防災や歴史をテーマに2コースに分かれてまち歩きを行い、その後、まち歩きで得た気づきなどをガリバーマップ（大判の地図）やVR技術を活用したワークショップで意見交換を行ってもらう予定。
- ・ 長房・船田学童、民生児童委員、青少対、はちまるサポート、シルバーふらっと、創価大や法政大のボランティアなどが参加予定している。
- ・ 参加者は一般募集枠として20名程度、各学童から10名ずつ、各協力団体から数名になる予定。
- ・ イベントの周知としては、高齢者あんしん相談センターで発行している「安心だより」に掲載する。

#### 令和6年度（2024年度）の開催日程について

- ・ 推進会議参加者を対象としたアンケートの回答を参考に来年度は5回の開催を予定している。
- ・ 第1回の日時については、4月20日（土）午前9時30分～12時00分で会場は、長房小のプレイルームを予定している。
- ・ 第2回以降については、学校行事などの予定を確認したうえで4月20日にお知らせする。

## 8 閉会

以上